



「静寂」撮影：渡邊俊一



田中愛治総長 揮毫

2021年  
10月1日発行

◆  
第22号  
◆

編集発行  
我孫子稲門会

会長 白戸章雄

(昭40政経)



近くを散歩していても、行きかう人々はマスクをつけて、うつむき加減であり、解放感はありません。コロナ禍に制約された息苦しい生活が、こんなに続くとは思っていませんでした。この会報の一面トップには、本来ならば盛り上がる総会風景が載るはずで

したが、今年度もまた総会は開けず、会の運営に必要な事項について、書面決議をお願いせざるを得ませんでした。

活動報告にもありますように、総会、新年会のみならず、

親睦の場である同好会活動も休業状態で、辛うじて、幹事会だけは、ほぼ毎月開いています。会員増をと目論んで

いましたが、逆に減少しつつあるのは無念としかいえません。

人々の生活のありようも随分変わってきたようです。三密を避けるため、外で呑む回数が増えたこと、テレワークの定着により、在宅勤務者が増えたこと、温泉につか

つて英気を養う気分にもなれないこと、職を失う人が増え、貧困の拡大につながっていることなど、生活の様々な面に

影響が出ています。

一方、開催が危ぶまれた東京五輪は、関係者の懸命な努力により、大きな混乱もなく、日本人選手たちの大活躍の余韻を残しながら閉幕できたことに安堵しています。

憂慮すべきことの一つは、

コロナ禍への対応のため、国や地方の借金がさらに増え、現役世代や次世代に大きなツケが残ってしまったことではないでしょうか。未曾有の高齢化の進展により、年金、医療、介護などの社会保障費が膨らみ続け、借金に依存していますが、そのツケがさらに大きくなってしまいました。

宮沢賢治と同郷の大谷翔平選手の活躍に歓喜しながら、コロナ禍の一日も早い収束を念じている毎日です。会員の皆様のご健勝を心からお祈りいたします。

雨ニモ負ケズ、  
風ニモ負ケズ、  
ソシテ、  
コロナニモ負ケズ

◆2020年度収支決算 2020年4月1日～2021年3月31日			
収入	金額	支出	金額
年会費	483,000	会員募集費用	-
		総会開催費用	26,484
総会会費	-	新年会費用	-
		企画事業費	-
新年会会費	-	会報発行費	11,450
		部会補助	-
企画事業会費	-	支部活動費	-
		交際費	-
祝い金	-	通信費	56,267
		事務費	70
受取利息等	1	会議費	2,790
		交通費	-
		事務用消耗品費	6,737
		寄付金	150,000
合計	483,001	合計	253,798
前年度繰越金	130,488	特別勘定繰入	-
収入合計	613,489	次年度繰越金	359,691

◆2021年度収支予算 2021年4月1日～2022年3月31日			
収入	金額	支出	金額
年会費	495,000	会員募集費用	20,000
		総会開催費用	50,000
総会会費	-	新年会費用	270,000
		企画事業費	30,000
新年会会費	240,000	会報発行費	20,000
		部会補助	20,000
企画事業会費	30,000	支部活動費	50,000
		交際費	40,000
祝い金	-	通信費	60,000
		事務費	10,000
		会議費	10,000
支部補助金	-	交通費	10,000
		事務用消耗品費	20,000
受取利息	1	寄付金	50,000
合計	765,001	合計	660,000
前年度繰越金	359,691	30周年記念事業積立資金	50,000
		支出合計	710,000
収入合計	1,124,692	次年度繰越金	414,692

## 2021年度総会書面表決結果

2021年度の総会は、新型コロナウイルス感染防止のため昨年に続き書面での決議とし、6月25日を期限に書面表決書をご提出いただきました。その結果、次のとおりすべての議案について賛成多数で可決されました。

会員総数：183名 表決書提出者数：110名

議案1 (2020年度事業報告、2020年度会計報告、2020年度監査報告)

賛成107名、反対0名、無記入3名

議案2 (2021年度事業計画、2021年度収支予算)

賛成107名、反対0名、無記入3名

議案3 (役員選任)

賛成106名、反対1名、無記入3名

### ◆2021年度役員 ○:新任 無印:留任

役職	氏名	卒年・学部
会長	白戸 章雄	S40年政経
副会長	小池 進一郎	S40年政経
"	高谷 一之	S40年商
"	村上 智雅子	S43年文研
"	山本 弘之	S51年商
幹事長	海老原 美宣	S53年法
副幹事長	松本 善夫	S53年政経
幹事	木全 輝彦	S40年法
"	田中 由紀	S41年教育
"	片倉 武	S42年政経
"	浜崎 慶子	S43年文
"	小田金 由太郎	S45年商
"	吉田 治實	S46年政経
"	大谷 光弘	S46年商
"	西 久男	S50年政経
"	木野 吉晴	H4年理工院
"	○野口 英利	H6年法
"	関 俊彦	H10年教育
監査役	滝日 明	S33年政経
"	木野 綾子	H6年政経
顧問	野口 尚宏	S33年理工
"	日吉 照輔	S35年商
"	大塚 紀年	S38年商
"	実松 靖之	S38年政経
相談役	加藤 高一	S33年商
"	松島 洋	S34年政経
"	山口 宏	S37年政経
"	渡邊 俊一	S37年法
"	藤木 顕斉	S37年商
"	河野 喜明	S39年法
"	本橋 靖弘	S40年商
"	横須賀 晃	S46年政経

2020年度活動報告

2020年4月、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、国は緊急事態宣言を発出。大学・校友会からは支部・稲門会に対し、稲門会活動を中止・延期するよう要請があった。これを受け、6月に予定していた会員出席による定期総会は中止とし、創立以来初めての書面議決を実施した。また会報発行、幹事会など

2021年度活動計画

一部の活動を除き、新年会等その他の事業は自粛した。

新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、収束の兆しが見えない中、2021年4月、大学・校友会から稲門会活動の基本方針が次のとおり示された。

- ・緊急事態宣言発出の場合
- ・対面での活動は控える
- ・まん延防止等重点措置適用の場合：感染対策を徹底

の上、対面活動は可能。飲食を伴う懇親会等は控える。

- ・前記以外……感染対策を徹底し、国や地方自治体からの指針を遵守した上で対面での活動は可能。感染対策が困難な場合（不安が残る場合）は活動を控える。

今年度の活動は、この基本方針に従い、活動が可能な場合は次の事業を行う。

- ・新年会・会報発行・女子会及び同好会活動・支部稲門祭参加・公務活動

野口英利（平6法）



このたび、幹事に就任しました野口英利です。私は流山市で育ち、1997年より我孫子に住んで24年になります。我孫子は都内への通勤・通学も便利で、自然も多く喧嘩もないので本当に気に入っています。

また、私の早稲田大学在学期間は平成2年から6年でしたが、大変楽しく過ごさせていただきました。

六大学野球や箱根駅伝が強い時期で盛り上がっており、好きになり応援に行きました。そこで皆で歌う校歌や紺

碧の空などは一体感もありエネルギーをもらったことをよく覚えております。また麻雀が好きで、大学周辺の安い雀荘（今はないみたいですが）にも通ってましたので、いずれは稲門会の麻雀会も参加したいです。

コロナ禍で交流そのものが難しい時代ですが、今後は諸先輩と交流させていただければ幸いですので何卒よろしくお願ひします。

2021年千葉県稲門祭 11月28日(日) 対面とリモート 開催

実行委員長は白戸会長 ぜひご参加ください



▲田中愛治総長



▲鈴木哲夫氏

昨年は中止となった県稲門祭ですが、今年是对面とリモートで次のとおり開催します。実行委員長は白戸会長が務めます。ふるってご参加ください。

- 日時 11月28日(日) 午後2時30分~5時
- 場所 東京ベイ幕張ホール (アパホテル&リゾート東京ベイ幕張)
- 定員・会費 対面300名 リモート500名 いずれも1,000円/人
- 内容 鈴木哲夫氏講演会、田中愛治総長懇談会、熊谷俊人知事挨拶  
懇親会はありません。詳細は添付のチラシをご覧ください。
- 申込方法 10月末までに、電話、FAXまたはメールで下記申込先までお申込みください。(FAX、メールの場合は対面、リモートの別を明記)
- 申込先 副会長 山本弘之 TEL:080-5413-9397 FAX:04-7189-1021  
Email:h\_waseda@outlook.jp

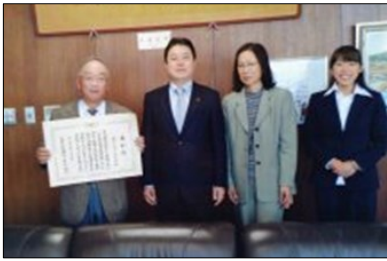
# 消しゴムハンコで社会貢献

## 松本守正 (昭41商)

私自身の定年退職後の活動について書かせていただきます。一部自慢話に聞こえるかもしれませんが、お許しください。

(1) 定年退職後も亭主元気で留守がいい!

平成15年にソニー・ミュージックエンタテインメントを定年退職しました。現役時代通っていた柏市のスポーツジムで、おば様達の「定年退職後に何もせずに一日中家に居る亭主への不満」を何度も耳にしたので、自分は絶対にそうはなるまいと心に決めました。それまでも週末はテニ



星野市長とともに(筆者左端)

ス、麻雀、自彊術など家に居ないことは多かったのですが、ウィークデイに出来る趣味と我孫子市の市民文化講座で「茶道」「短歌」「謡曲(宝生流)」、NHKカルチャー柏で「篆刻」「仏画」「消しゴムはんこ」、その他竜ヶ崎で乗馬など広く、浅く挑戦しました。喜寿を過ぎた現在はさすがに体力も判断力も衰えたので、続けているのは自彊術、謡曲、消しゴムはんこだけです。

(2) 消しゴムはんこで地域(社会)貢献  
平成22年の設立から係わった根戸小学校のあびっこクラブでシヨートテニスを始めグラウンドゴルフ、消しゴムはんこを教えています(現在はコロナのため活動は休止中)。平成24年に『創意工夫ある取組みと活発な活動』が評価され、文部科学大臣表彰(田中真紀子大臣)を受賞しました。星野市長の目玉施策の一つなので、表彰状を持つ

て表敬訪問した時は大変喜んでくれました。(写真左上)  
駅前にあるけやきプラザ10階の「市民活動ステーション」は、ボランティアや市民活動をする団体をサポートする公共施設ですが、ステーション本体及び利用団体からも消しゴムはんこの依頼があり、これまで①ステーション

で表敬訪問した時は大変喜んでくれました。(写真左上)  
駅前にあるけやきプラザ10階の「市民活動ステーション」は、ボランティアや市民活動をする団体をサポートする公共施設ですが、ステーション本体及び利用団体からも消しゴムはんこの依頼があり、これまで①ステーション

# ここにも一人 早大生

## 佐々木節子 (昭47文)



ロゴ印②あびじよ十一絵本の蔵書印③住みよいまちづくり研究所が行った「滝前不動新春竹筥」イベントのスタンプリリーのはんこ等々協力し大変感謝されました。  
他人(ひと)様(さま)から頼りにされることは嬉しく、生きがいに繋がります。

究最優先の社風だが家庭的で社内結婚を推奨。残念ながら別経路で結婚。宇都宮朝六時発の東北線での通勤は相当頑張ったが妊娠すると体にくたえ、やむなく退社となる。  
「北の鎌倉」のキャッチフレーズに魅せられ我孫子に転居したのは三十歳。ところがいつしか「自己実現」なる言葉が頭をもたげ、主人の反対を押し切り社会進出。結局人材育成の仕事で定年まで二十年も続けてしまった。とは言え、仕事と家事の両立は大変、ストレス解消にと茶道を再開した。

学歴偏重の時代にあつて、自分からは早稲田卒とは言わない。二文でしかも二浪。団塊世代でも女子の二浪はクラスでも私だけだった。バリエードに囲まれ受験したのにつしかな強烈な憧れも消失。平凡な四年が終わる。  
エーザイに就職、男女同賃金で図書室勤務は大満足。研

そんな折、武者小路邸での茶会を知り稲門会主催に躊躇しながら参加。村上さんとお知り合いになり、その後も数回日吉先生、滝日先生のお茶会に声をかけて戴く。特にクレオでの茶会は盛大で会の進行はまず参加者全員の自己紹介から開始。流派は異なるが一期一会の出会いに心して、一座建立の席に臨んだ。  
更に女子会のお誘いを受け、卒業生がどのように活躍しているのか好奇心もあり足を運ぶ。ランコントロールでの食事会は数回開催された。内容は高尚で卒論のテーマにまで言及。若い現役の弁護士や議員の方も居て限りなく話題は広がり有意義な会となる。

今は、「奥の細道」を勉強中。芭蕉の博識に驚く。三回も日本史で受験をしたのに、改めて歴史の面白さに開眼。古典、漢文と更には趣味の書道にも関連伝播して行く。  
人生の最後にエーザイ開発の認知症治療薬のお世話にならないよう、日々身体を鍛え心の若さを失わないように挑戦しております。

人生の最後にエーザイ開発の認知症治療薬のお世話にならないよう、日々身体を鍛え心の若さを失わないように挑戦しております。

# ネパールに派遣されて

## 後藤和徳（昭50法）



早稲田時代と言えば授業後に、政経学部館裏の喫茶店紺碧「その先の雀荘「まるたか」にたむろし、今でも交流が続く山のクラブの仲間達とのことが何よりも懐かしく思い出されます。とりわけ、休みを利用して年間100日ほど入り込んだ南北アルプスの3000mの峰々や日高山脈等厳しくも達成感のあった山行など、今でも早稲田界隈の自由闊達な雰囲気や記憶が心の奥底に残っています。

そうした想いを抱いたまま定年を迎え、それまでの経験をもとに自分の自由にやりたいことで世の中に貢献できることはないかとJICAのシニアボランティアにトライし、たまたまヒマラヤの山岳地帯に位置するネパールの「ジュナル中央農業協同組合連合会」に派遣されました。とても美味しい柑橘ジュナル（ネーブルオレンジ）の一種を産出する32の農協から構成され、ジュナルの生産指導

と販売支援を通じ農家収入の向上を目指す農協連合会でした。派遣先での活動目標は市場開発、販売指導を中心として、生産農家、農協及び連合会に対し、助言及び支援を行うことで、月に1〜2回ジョブをチャーターしてオフロードを越え、首都カトマンズの東方150Kmにある山岳地帯の農協の本拠地シンズリ郡やラメチャップ郡を訪れて現地の実態を確認・協議し、種々の支援活動を行うことでした。

その2年目に産地を全滅させる柑橘グリーンニング病が見つかり、地区毎に研修会を開催して知識を広め、簡易検査用の器材・薬品の使い方法などが個別の農協で対応可能となるよう現地へ何度も足を運び、この対策を1年で仕上げた。任期が終了した。この病気は多くの国々で柑橘類の生産に大

打撃を与え、まだ治療法・薬はなく、罹病すると2〜3年で産地が全滅してしまう厄介なものでした。任期後も3回ほど農家ステイしながら様子を見て来て、幸いにもこの地域では病気を抑え込むことができている。現地の人達の素朴で思わず引き入れられるような笑顔が未だに脳裏に浮かびます。（写真⇨現地送別会でカウンタートパートと共に祝福

# 大きなうねりの中で

## 市来和子（昭48教）



私が早稲田に入学したのは、昭和44年。大学紛争が全国に広がりを見せた年です。史上初めて東京大学の入試がなかった年でもあります。入学して間もなく授業は休講が増え、そのうちほとんどの授業がなくなりまし。棟内は椅子や机などで塞がれ、バリケードストライキ、ロックアウトと続いていたのです。

学生の中には傍観者ではなく、自分の問題として向き合う人も多くなり、私もそのひとりでした。この大きなうね

赤いティカを額に受けて挨拶



時です。数字が書かれた紙片が順送り回ってきました。主催者によると、機動隊に捕まった時はその番号に電話して黙秘するようにと。紙片を渡す手も、受け取る手も震えていたのを覚えています。その後、過激な思想や行動をする集団に対して違和感と失望を感じ、ささやかな活動を終えたのです。

秋も深まった頃、同じ音楽サークルの男子学生二人とバンドを結成。私は人前で歌うこともなく、ただ歌うことが好きなだけというお粗末さ。練習は学生会館の屋上。徐々にバンドの体を成し、ハーモニーが決まった時の喜びは格別でした。あれから半世紀以上の時を経て、稲門会の新年会で歌うことができたこの縁は、私の宝物です。

私のもととは何なのか、何が多くの学生を動かしているのかわりたいという思いで、クラス討論や学生集会、デモにも参加するようになっていきました。そして問題から逃げずに行動しようと考えていました。大隈重信侯の銅像の周りは、立て看板が林立しヘルメット姿の集団がシュプレヒコールを上げています。それが昭和44年の早稲田です。

同年10月21日、「国際反戦デー」に友人と参加しました。公園に参加者が集まった



# 早稲田の映画人・吉永小百合

## 片倉 武(昭42政経)



わたくしこと1960年に松戸一中を経て高等学院に入學いたしました。成田線湖北駅から当時走っていたSLの一番列車から乗り継いで、練馬のはずれまで2時間半：当時の学院は生徒数1500余名、とにかく女つ気が無く、女性といえばイギリス人の英会話教師と事務室に1人、あとは食堂のお姉サン数名だけなので、たまに近くのミッシヨンスクールの女子高生十数名が英語クラブとの交流で来たりしたらもう大変で「オンナが来たー！」と授業を放り出して窓に鈴なりになる始末。それでも受験がないことから

開かれた校風でみんなスポーツ、音楽、読書等好きなことを楽しんでいました。

同じクラスにSというライバルがおりました。この男は学院には珍しく予習・復習をキチンと済ませてくるのでいつも成績は私より上で、遂に3年間彼を凌駕することは叶いませんでしたが、実はこのSが渋谷区立代々木中学校時代、吉永小百合と同級だったらしく、Sは常々、「オレはとうとう一度も吉永に勝てなかった」と漏らしていました。…ということとは三段論法を待つまでもなく、吉永のおツムは私よりツーステップは上だったようです。

彼女は、そこから都立の名門駒場高校(旧制府立第三高女)に進みますが、芸能生活繁多のため中退。思えばこの頃、浦山桐郎監督による名作「キューポラのある街」で主

人公の中学生ジュンを好演し人気を不動のものにしていたんですね。

しかし、その後も勉学の道(もた)し難く大検で高卒資格を取得、1965年に我が第二文学部西洋史学専修に合格、そこを次席で卒業しています。吉永は入学した際、

早稲田を選んだ理由を聴かれ、「多くの敬愛する先輩がこの大学を目指したから…」と答えていたのを思い出します。そう言えば私が大学に進んだ同期に後の人間国宝、中村吉

右衛門、2年上に兄の松本白鸚や北大路欣也がいました。

私の所属していたマンドリン楽部の部室は文学部のそばにありましたので、定演近く練習が遅くまである時など、文学部の学食に夕食をとりに行く、たまたま吉永小百合が来ていたりして、サユリストを自認している男子部員は大騒ぎしていました。

結局、こんな昔ばなしを書いている私も、巷間に大勢いる隠れサユリストの一人なのかも知れません。

# 遊歩道に美しいつつじを再び

## 大谷光弘(昭46商)



手賀沼遊歩道で、松島氏と筆者(右)

つつじが我孫子市の花であることは皆さまご承知の通りです。“紅いつつじの花の波”で始まる「あびこ市民の歌」は我孫子駅で発車メロディーとして、また、体育館などの公共施設や小中学校や市の行事において耳にし、時には歌われます。作曲はシンガーソングライターの小椋佳氏です

が、作詞者は手賀沼遊歩道で桜のあとに咲き誇る美しいつつじをイメージして詩を作成したとのこと。

しかしながら、現在の手賀沼遊歩道のつつじは、古いものは植樹から50年以上を経過して多くが老木となっており、また、維持管理作業に問題があったことから、多種類の雑木・雑草に浸食されたり褐斑病に罹ったり、多くの植栽が危機的な状況に瀕しているのが現状です。当然のことながら開花する花の数は大幅に減少しています。

あまりの惨状を見るに見かねて、市の緑のボランティアに登録し除草作業に着手しましたが、すぐに池側・陸側合計約10km全体を個人でカバーするのは不可能と認識させられました。そこで、市会議員で稲門会の大先輩の松島洋さんに状況を説明、協力をお願いしたところご快諾頂き、松島さんの御助力により市幹部と面談の機会を持つことができました。

面談では「つつじは我孫子



公園の木々が鏡のような水面に映り込む1面の美しい写真は、相談役渡邊俊一さんの作品です。  
 渡邊さんは、クリーン手賀沼推進協議会主催の第35回手賀沼写真コンクールで優秀賞を受賞しました。受賞作品は「霧の朝」(写真上)。手賀沼の枯蓮が朝霧の中に浮かび上がる幻想的な作品です。今年の手賀沼カレンダーの12月を飾っています。ご覧ください。

## 相談役 渡邊俊一さん ●●●●●●●● 手賀沼写真コンクールで優秀賞

市にとって次代に引き継ぐべき貴重な財産」との言葉を得て、「専門家の調査実施、調査結果に基づき、根本的な改善及び中長期維持管理計画を設定」などを要請しました。更に松島さんは3月の市議会の一般質問でも取り上げて下さり、我孫子市として正式に前向きに取り組むことが確認されました。

市としては植栽内部の雑草

除去等の新たな対策も実施することとなりましたが、最も深刻なアズマネザサ問題には更なる検討や関係者の説得なしには取り掛かれない状況です。従い、以前の美しい紅いつつじの波の復活を目指し、長期的観点から注視し実現を求めて行く予定です。稲門会会員のボランティアとしての参加を歓迎します。

## 地区別校友数・会員数・地区委員一覽

2021/7/1

地区	校友	会員	地区委員	地区	校友	会員	地区委員
布佐・布佐西町・都	21	4	松島洋	白山2丁目	17	0	
布佐平和台1丁目	6	0		白山3丁目	26	4	大田行雄
布佐平和台2～7丁目	25	8	飽田浩一、山本弘之	船戸	27	5	佐藤信樹
南新木	9	1		台田	24	3	
新木・新木野	36	2	小嶋豊	久寺家	31	8	小田金由太郎
下ヶ戸	11	1		つくし野1丁目	21	2	河野喜明、大塚紀年
古戸・中里	11	0		つくし野2丁目	19	2	大竹純夫
日秀	6	2		つくし野3丁目	50	9	本橋靖弘
中峠	24	3	海老原美宣	つくし野4丁目	7	0	松本守正
中峠台	5	2		つくし野5丁目	19	8	
都部・岡発戸	7	1		つくし野6丁目	25	3	
湖北台1～5丁目	35	3	北見正賢、大類裕久	つくし野7丁目	16	5	大塚紀年
湖北台6～10丁目	33	4		並木	43	9	高谷一之
栄	18	4	遠藤正彦、小池進一郎	我孫子1～4丁目	103	10	池原正道
泉	28	4	実松靖之、木全輝彦	我孫子(上記以外)	3	0	小池進一郎
天王台	59	9	横須賀晃	根戸	30	0	
東我孫子	28	8	大谷光弘	青山	4	0	吉田治實
高野山	32	6	佐々木宏三	青山台	62	10	
若松	36	6	西久男、村上智雅子	南青山	1	0	加藤高一、土屋謙
寿	38	9	滝日明	柴崎台	28	5	
本町	6	0	渡邊俊一	柴崎	3	2	
緑	18	3		市外(東京、松戸、柏)			8
白山1丁目	29	7	日吉照輔	合計	1,080	180	

「校友」は2021年4月27日現在の早稲田大学校友会登録者

「会員」は2021年7月1日現在の我孫子稲門会登録者

我孫子稲門会会員名簿

2021年7月1日現在 180名

<p>【布佐】</p> <p>岩田 信二 小山 和則 白戸 章雄 松島 洋</p> <p>【布佐平和台】</p> <p>飽田 浩一 江畑 哲男 遠藤 博 篠崎 喜男 竹田 志帆 永田 裕二郎 成瀬 豊久 増山 義也</p> <p>【新木】</p> <p>土屋 和久</p> <p>【新木野】</p> <p>髭田 勝見</p> <p>【南新木】</p> <p>吉田 哲</p> <p>【中峠】</p> <p>海老原 美宣 染谷 一夫 田中 由紀</p> <p>【日秀】</p> <p>小嶋 豊 小嶋 靖子</p> <p>【中峠台】</p> <p>片倉 武 片倉 みつ子</p> <p>【都部】</p> <p>香取 典男</p> <p>【湖北台】</p> <p>大類 裕久 岡本 和男</p>	<p>北見 正賢 小島 秀夫 斎藤 公誉 諏訪 睦人 瀬賀 正澄</p> <p>【下ヶ戸】</p> <p>熊崎 康男</p> <p>【栄】</p> <p>遠藤 正彦 小倉 正巳 後藤 和徳 根本 陽一</p> <p>【泉】</p> <p>木全 輝彦 小池 進一郎 実松 靖之 若林 光</p> <p>【天王台】</p> <p>小笠原 博幸 尾崎 久照 金子 奉義 佐藤 厚子 並木 喬 古屋 博 松井 明治 横須賀 晃 吉広 誠一</p> <p>【東我孫子】</p> <p>新井 照男 石川 正和 及川 力哉 大谷 光弘 杉本 勝則 竹生 昭 藤田 光宏</p>	<p>吉田 富雄</p> <p>【高野山】</p> <p>加藤 平三郎 古賀 清昭 佐々木 宏三 中村 敏 濱田 良光 松本 善夫</p> <p>【若松】</p> <p>柴橋 宏昭 西 久男 深津 紘 村上 智雅子 森田 茂生 森田 英子</p> <p>【寿】</p> <p>榮田 隆弘 片野 泰栄 瀧日 明 徳永 和秋 中村 暢彦 野川 拓至 野見山 俊明 古屋 雅弘 本橋 洋一</p> <p>【緑】</p> <p>鈴木 重信 富樫 道廣 渡邊 俊一</p> <p>【白山】</p> <p>赤石 幸一 大田 行雄 木野 綾子 木野 吉晴 黒井 榮治郎</p>	<p>近藤 廣 鈴木 武史 須藤 英華 寺木 清次 野口 英利 日吉 照輔</p> <p>【船戸】</p> <p>飯澤 郁郎 大槻 延広 岡田 正宏 佐藤 晶英 長南 利彦</p> <p>【久寺家】</p> <p>榎本 康夫 小田金 由太郎 黒河内 尚 小池 忠彦 野口 尚宏 保々 和宏 宗岡 恒雄 渡邊 明</p> <p>【つくし野】</p> <p>鮎川 麗子 安藤 昭彦 梅田 寛幸 大竹 純夫 大塚 紀年 岡 宏 岡嶋 久彌 梶本 幸男 加茂 隆 蒲生 邦道 河野 喜明 河野 美香 小島 順也</p>	<p>小松 庸信 小森 芳明 佐々木 節子 清水 啓助 高橋 実 友野 海也 富山 稔 中杉 文雄 野中 憲 松本 守正 三浦 健司 目黒 義二 本橋 靖弘 山口 和親 山口 宏 吉田 幸徳</p> <p>【並木】</p> <p>市来 和子 市来 誠 高谷 一之 澤部 肇 瀧澤 道明 長谷 景治 東野 方之 平林 清江 藤木 顕斎</p> <p>【我孫子】</p> <p>池原 正道 大森 俊幸 北垣 武久 小林 泰拓 五島 敏夫 近藤 茂樹 菅野 重樹 関 俊彦</p>	<p>西野 公一 深井 義雄</p> <p>【台田】</p> <p>片淵 雅章 佐藤 信樹 塙 和彦</p> <p>【青山台】</p> <p>有年 義隆 伊藤 碩 岩淵 雅孝 木村 匡男 佐藤 明 永田 堅志郎 縄野 光孝 服部 正二 諸井 清次 吉田 治實</p> <p>【柴崎台】</p> <p>小笹 彰男 加藤 高一 土屋 徳郎 中村 政人 松村 信明</p> <p>【柴崎】</p> <p>磯貝 桓 土屋 謙</p> <p>【市外】</p> <p>近堂 邦夫 武井 勲 西川 将巳 野口 修 野口 勝久 花輪 雪樹郎 浜崎 慶子 山本 弘之</p>
--	---	---	---	---	--

我孫子稲門会事務局

〒270-1121  
我孫子市中峠1264  
幹事長 海老原美宣  
☎ 090-2720-1517

創立20周年を記念し盛大に開催した2019年の総会が懐かしく思い出されます。再びみんなが集い、楽しい時間を共有できる日が一日も早く訪れることをただただ願うばかりです。

会員の皆様、ご家族の皆様にはどうぞご自愛のほど心からお祈り申し上げます。

長引くコロナ禍の中、昨年引き続き、今年も総会を開催することができませんでしたが、また、活動も休止状態が続いています。

